プロジェクトマネジメント	研修コース群	システム設計	システム構築	システム運用／保守	プロジェクトマネジメント基礎	プロジェクトマネジメント実践	プロジェクトマネジメントツールとプロセス	システム要件定義技法	プロジェクトマネジメントのリーダシップ	プロジェクトマネジメントのコミュニケーション	プロジェクトマネジメントのネゴシエーション	コンプレックスプロジェクトマネジメント	品質マネジメント	リスクマネジメント	ファイナンシャルマネジメント	プロジェクトマネジメントの契約管理	調達マネジメント	最新技術動向	プロジェクトマネジメント最新動向	最新ビジネス動向	インダストリアプリケーション動向	コミュニティ活動	プロジェクトマネジメント方法論（システム開発／アプリケーション開発／システムインテグレーション）	DOA構造化手法	プロジェクトマネジメント方法論（ネットワークサービス）	ネットワークプロジェクトマネジメント事例	プロジェクトマネジメント方法論（ソフトウェア製品開発）	ソフトウエア開発プロジェクトマネジメント	eビジネスソリューション開発方法論	eビジネスソリューションプロジェクトマネジメント	アウトソーシングプロジェクトマネジメントのための システム運用管理方法論	アウトソーシングプロジェクトマネジメントのプロジェクトマネジメント	アウトソーシングプロジェクトマネジメントのための会計・経営管理概説
職種共通スキル項目	専門分野固有スキル項目	知識項目	システム設計の基礎	システム構築	システム運用／保守	プロジェクトマネジメント基礎	プロジェクトマネジメント実践	プロジェクトマネジメントツールとプロセス	システム要件定義技法	コンサルティングメソドロジ	プロジェクトマネジメントのリーダシップ	プロジェクトマネジメントのコミュニケーション	プロジェクトマネジメントのネゴシエーション	コンプレックスプロジェクトマネジメント	品質マネジメント	リスクマネジメント	ファイナンシャルマネジメント	プロジェクトマネジメントの契約管理	調達マネジメント	最新技術動向	プロジェクトマネジメント最新動向	最新ビジネス動向	インダストリアプリケーション動向	コミュニティ活動	プロジェクトマネジメント方法論（システム開発／アプリケーション開発／システムインテグレーション）	DOA構造化手法	プロジェクトマネジメント方法論（ネットワークサービス）	ネットワークプロジェクトマネジメント事例	プロジェクトマネジメント方法論（ソフトウェア製品開発）	ソフトウエア開発プロジェクトマネジメント	eビジネスソリューション開発方法論	eビジネスソリューションプロジェクトマネジメント	アウトソーシングプロジェクトマネジメントのための システム運用管理方法論	アウトソーシングプロジェクトマネジメント概説	アウトソーシングプロジェクトマネジメント実践	アウトソーシングプロジェクトマネジメントのための会計・経営管理概説
統合マネジメント		プロジェクト計画の策定 ・プロジェクト計画メソドロジの活用と実践 ・プロジェクトマネジメントツールの活用 ・プロジェクト計画書の策定				○	○	○		○				○							○									○					○	○	
統合マネジメント		プロジェクト計画の実施 ・一般的な管理スキルの活用と実践 ・プロジェクトマネジメントツールの活用 ・承認プロセスの把握 ・進捗管理会議運営 ・組織の手続きの把握				○	○	○						○							○														○	○	
統合マネジメント		統合変更管理 ・変更管理 ・構成管理 ・プロジェクト進捗評価基準の活用と実践 ・プロジェクト計画書更新版の策定			○	○	○	○						○							○									○					○	○	
スコープマネジメント		プロジェクト開始 ・プロジェクト憲章の策定 ・プロジェクトマネジャの選定と任命 ・制約条件と前提条件の把握				○	○							○							○									○	○	○			○	○	
スコープマネジメント		スコープ計画 ・スコープ記述書の策定 ・スコープマネジメント計画書の策定				○	○							○					○		○									○	○	○			○	○	
スコープマネジメント		スコープ定義 ・WBSの作成 ・スコープ記述書更新版の策定				○	○							○							○									○	○	○			○	○	
スコープマネジメント		スコープ検証				○	○							○							○										○	○			○	○	
スコープマネジメント		スコープ変更管理 ・スコープ変更 ・ベースライン文書の改訂				○	○							○					○		○									○	○	○			○	○	
タイムマネジメント		作業定義 ・作業の細分化と詳細化 ・作業項目リストの作成 ・WBS更新版の作成			○	○	○							○							○									○	○	○			○	○	
タイムマネジメント		作業順序設定 ・PDM(Precedence diagramming method) ・ADM(Arrow diagramming method) ・Conditional diagramming method ・プロジェクトネットワーク図の作成 ・作業項目リストの作成			○	○	○							○							○										○	○			○	○	
タイムマネジメント		作業所要時間見積 ・所要時間見積 ・作業項目リストの作成			○	○	○							○							○									○	○	○			○	○	
タイムマネジメント		スケジュール開発と管理 ・数学的分析（Critical Path Method、PERT等） ・所要時間の短縮 ・シミュレーションの実施 ・プロジェクトマネジメントツールの活用 ・プロジェクトスケジュールの作成 ・スケジュールマネジメント計画書の作成 ・スケジュール変更管理		○	○	○	○							○							○									○	○	○			○	○	
コストマネジメント		資源計画 ・資源計画の検討と策定 ・代替案の定義				○	○							○			○		○		○									○	○	○			○	○	
コストマネジメント		コスト積算 ・トップダウンコスト見積の実施 ・ボトムアップコスト見積の実施 ・見積ツールの活用と実践 ・コスト見積方法論の活用と実践				○	○							○			○		○		○									○	○	○			○	○	
コストマネジメント		予算設定 ・予算設定ツールと技術の活用と実践 ・コストベースラインの作成				○	○							○			○		○		○									○	○	○			○	○	
コストマネジメント		コストコントロール ・コスト変更管理の実施 ・進捗状況評価基準の把握と実践 ・EVM(Earned value management)の活用と実践 ・コストコントロールツールの活用と実践				○	○							○			○		○		○									○	○	○			○	○	
品質マネジメント		品質計画 ・ベネフィットコスト分析 ・ベンチマーキングの実施 ・フローチャートの活用と実践 ・品質に関するコスト管理				○	○							○	○						○														○	○	
品質マネジメント		品質保証 ・品質計画 ・品質予測 ・品質監査 ・ツールと技術の活用と実践				○	○							○	○						○														○	○	
品質マネジメント		品質コントロール ・監査 ・コントロールチャートの活用と実践 ・パレート図の活用と実践 ・統計サンプリングの実施 ・フローチャートの活用と実践 ・傾向分析				○	○							○	○						○														○	○	
組織マネジメント		プロジェクト組織計画 ・人材業務の実践 ・組織論の実践				○	○							○							○														○	○	
組織マネジメント		要員調達 ・要員計画の策定 ・採用業務の実施 ・ネゴシエーション ・調達				○	○							○					○		○														○	○	
組織マネジメント		チーム体制化 ・チーム構成作業の実施 ・一般的な管理業務の実施 ・適材配置の実践 ・チーム育成				○	○							○							○														○	○	
コミュニケーションマネジメント		コミュニケーション計画 ・コミュニケーション要件の把握 ・コミュニケーション技術の活用と実践				○	○							○							○														○	○	
コミュニケーションマネジメント		情報配布 ・コミュニケーションスキルの活用と実践 ・情報配布方法論の活用と実践				○	○							○							○														○	○	
コミュニケーションマネジメント		実績報告 ・進捗検証 ・予実分析 ・傾向分析 ・Earned Value分析				○	○							○				○	○		○														○	○	
コミュニケーションマネジメント		プロジェクト完了手続 ・プロジェクト実績報告 ・プロジェクト報告書の作成 ・プロジェクトプレゼンテーションの実施				○	○							○							○														○	○	
リスクマネジメント		リスクマネジメント計画策定			○	○	○							○		○					○										○	○			○	○	
リスクマネジメント		リスク識別 ・資料分析 ・情報収集技術（ブレインストーミング、インタビュー、SWOT分析）の活用と実践 ・仮説分析 ・ダイアログ技術の活用と実践			○	○	○							○		○					○									○	○	○			○	○	
リスクマネジメント		定性的リスク分析 ・リスク発生頻度と損害の大きさによる分析 ・リスク発生頻度と損害の大きさの評価マトリックスによる分析				○	○							○		○					○										○	○			○	○	
リスクマネジメント		定量的リスク分析 ・情報収集技術（インタビュー）の活用と実践 ・重大性分析 ・デシジョンツリ分析 ・シミュレーションの実施				○	○							○		○					○									○	○	○			○	○	
リスクマネジメント		リスク対応計画 ・許容 ・回避 ・移転 ・軽減 ・受容			○	○	○							○		○					○									○	○	○			○	○	
リスクマネジメント		リスク監視とリスクコントロール ・プロジェクトリスク対応監査 ・定期的なプロジェクトリスク検証 ・Earned Value分析			○	○	○							○		○					○									○	○	○			○	○	
調達マネジメント		調達計画 ・内製外製の分析 ・契約形態の選択 ・調達計画書の作成				○	○							○					○		○														○	○	
調達マネジメント		引合計画と引合 ・調達文書の作成 ・評価基準の設定 ・プロポーザルの受理				○	○							○					○		○														○	○	
調達マネジメント		発注先選定				○	○							○					○		○														○	○	
調達マネジメント		契約管理 ・契約業務の理解 ・契約条件の確認と合意 ・契約の締結 ・例外事項の処理 ・外注とOEM契約業務の理解 ・関連法規の理解と遵守				○	○							○				○	○		○														○	○	
リーダシップ		リーダシップ ・リーダシップ の基本や原則の把握と実践 ・チームワークとコミュニケーションの実践 ・プロジェクト目標の設定 ・プロジェクトの推進 ・プロジェクトの実行 ・プロジェクトマネジメント ・チームメンバの連携 ・チームメンバの動機付けと達成感の提供									○																									
コミュニケーション		コミュニケーション（2Way） ・対話およびインタビューの実施 ・意思疎通 ・コミュニケーション手法の活用と実践 ・効果的な話し方、聞き方の実践										○																								
コミュニケーション		コミュニケーション（情報伝達） ・プレゼンテーション技術の活用と実践 ・公式および非公式文書の作成 ・文書表現および表現力の活用と実践 ・メディア選択 ・説得技法の活用と実践										○																								
コミュニケーション		コミュニケーション（情報処理） ・状況対応能力の育成と実践 ・状況理解力の活用と実践 ・ミーティング運営技術の活用と実践										○																								

プロジェクトマネジメント	研修コース群	システム設計	システム構築	システム運用／保守	プロジェクトマネジメント基礎	プロジェクトマネジメント実践	プロジェクトマネジメントツールとプロセス	システム要件定義技法	プロジェクトマネジメントのリーダシップ	プロジェクトマネジメントのコミュニケーション	プロジェクトマネジメントのネゴシエーション	コンプレックスプロジェクトマネジメント	品質マネジメント	リスクマネジメント	ファイナンシャルマネジメント	プロジェクトマネジメントの契約管理	調達マネジメント	最新技術動向	プロジェクトマネジメント最新動向	最新ビジネス動向	インダストリアプリケーション動向	コミュニティ活動	プロジェクト方法論（システム開発／アプリケーション開発／システムインテグレーション）	DOA構造化手法	プロジェクトマネジメント方法論（ネットワークサービス）	ネットワークプロジェクトマネジメント事例	プロジェクトマネジメント方法論（ソフトウェア製品開発）	ソフトウェア開発プロジェクトマネジメント	eビジネスソリューション開発方法論	eビジネスソリューションプロジェクトマネジメント	アウトソーシングプロジェクトマネジメントのためのシステム運用管理方法論	アウトソーシングプロジェクトマネジメントの説	アウトソーシングプロジェクトマネジメント実践	アウトソーシングプロジェクトマネジメントの会計・経営管理概説
職種共通スキル項目	専門分野固有スキル項目	知識項目																																
ネゴシエーション		ネゴシエーション ・交渉プロセスの把握と実践 ・効果的な交渉技法の活用と実践 ・信頼関係の確立 ・目標の設定 ・共通利益 ・論理的思考の実践 ・問題解決手法の活用と実践										○																						
ITソリューション設計・開発管理		要件定義技法 ・現行業務分析 ・新規業務要件の把握 ・業務要件定義 ・現行IT環境分析 ・新規技術要件の把握 ・技術要件定義 ・インタビュー技法の活用と実践 ・要件定義書作成 ・ニーズの分析と優先順位付け										○											○	○										
ITソリューション設計・開発管理		技術問題解決手法 ・技術問題解決手法の活用と実践										○											○											
ITソリューション設計・開発管理		ソフトウェアエンジニアリング ・IT標準化手法 ・開発手法 ・開発支援ツール技術 ・プログラミング技術 ・テスト技法 ・再利用手法 ・セキュリティとプライバシ ・セキュリティ対策ツールと手法 ・外部設計 ・内部設計 ・オブジェクト指向開発 ・プログラミング技術 ・デバッグ技法										○											○											
ITソリューション設計・開発管理		最新技術動向 ・最新ハードウェア技術動向の把握 ・最新ミドルウェア技術動向の把握 ・最新プラットフォーム技術動向の把握 ・最新ネットワーク技術動向の把握 ・最新データベース技術動向の把握 ・最新セキュリティ技術動向の把握 ・最新システム管理技術動向の把握										○							○				○											
ITソリューション設計・開発管理		最新IT市場動向 ・国内外のIT市場規模と動向の把握 ・アプリケーションに関わる技術動向の把握 ・ビジネス特許に関わる技術動向の把握 ・次世代のeビジネスとその発展の把握																○		○														
ITソリューション設計・開発管理		インダストリ知識 ・インダストリ共通アプリケーションに関する知識の活用 ・インダストリ固有アプリケーションに関する知識の活用 ・インダストリビジネス動向の把握 ・インダストリ技術動向の把握 ・インダストリ競合状況の把握 ・インダストリ用語の把握と活用 ・関連法規の把握と活用 ・インダストリ別事業環境の把握と活用 ・インダストリ別ビジネス慣行の把握と活用 ・インダストリ固有業務内容の把握と活用																			○														
	情報システム管理	要件定義技法 ・現行業務分析 ・新規業務要件の把握 ・業務要件定義 ・現行IT環境分析 ・新規技術要件の把握 ・技術要件定義 ・インタビュー技法の活用と実践 ・要件定義書作成 ・ニーズの分析と優先順位付け																													○	○	○	
	情報システム管理	システム管理体系 ・組織と役割の設定 ・業務フローの策定 ・業務標準の策定 ・管理体制の確立																													○	○	○	
	情報システム管理	ユーザ部門との関係管理 ・ユーザおよび経営者の要望把握																													○	○	○	
	情報システム管理	情報システム計画 ・システム化戦略の策定 ・システム化計画の策定																													○	○	○	
	情報システム管理	システム開発 ・システム開発計画の策定と実施																													○	○	○	
	情報システム管理	本番システムへの適用 ・システム移行計画の策定と実施																													○	○	○	
	情報システム管理	情報サービスの支援 ・品質管理																													○	○	○	
	情報システム管理	情報サービスの提供 ・システム運用																													○	○	○	
	情報システム管理	情報資源の管理 ・情報システム資産計画策定と管理																													○	○	○	
	情報システム管理	技術問題解決手法 ・技術問題解決手法の活用と実践																													○	○	○	
	情報システム管理	最新技術動向 ・最新ハードウェア技術動向の把握 ・最新ミドルウェア技術動向の把握 ・最新プラットフォーム技術動向の把握 ・最新ネットワーク技術動向の把握 ・最新データベース技術動向の把握 ・最新セキュリティ技術動向の把握 ・最新システム管理技術動向の把握																													○	○	○	
	情報システム管理	企業会計 ・時価主義会計 ・連結会計 ・キャッシュフロー会計 ・年金会計 ・税効果会計 ・研究開発費とソフトウェア会計																																○
	情報システム管理	企業経営 ・キャッシュフロー経営 ・グループ経営とBPR(Business Process Reengineering) ・ABC(Activity Based Costing) ・ABM(Activity Based Management) ・人材マネジメント																																○
	通信環境設計・運用管理	要件定義技法 ・現行業務分析 ・新規業務要件の把握 ・業務要件定義 ・現行IT環境分析 ・新規技術要件の把握 ・技術要件定義 ・インタビュー技法の活用と実践 ・要件定義書作成 ・ニーズの分析と優先順位付け																							○									
	通信環境設計・運用管理	通信業界動向の把握																							○	○								
	通信環境設計・運用管理	ネットワーク機器関連知識の活用と実践																							○									
	通信環境設計・運用管理	ネットワーク管理技術の活用と実践																							○	○								
	通信環境設計・運用管理	ネットワークプロトコル関連知識の活用と実践																							○									
	通信環境設計・運用管理	ネットワーク技術の理解と活用 ・プロトコルと伝送制御 ・符号化と伝送 ・ネットワーク関連法規 ・ネットワークセキュリティ ・通信機器 ・インターネット ・ネットワークソフト ・回線に関する技術（ATM、フレームリレーやLAN、WANなど）																							○									
	通信環境設計・運用管理	ネットワークシステムの実装技術 ・ネットワークプロトコル、電気通信サービス、ネットワーク機器と装置、ネットワークサービス、イントラネットやエクストラ																							○									
	通信環境設計・運用管理	ネットワークシステムの運用、保守、管理 ・ユーザ対応 ・保守または更新の方針と計画作成 ・保守または更新の実施 ・バックアップとデータ回復 ・ネットワークシステム構成管理 ・ネットワークシステムの監視 ・システムの性能分析 ・セキュリティ侵害の分析と対応 ・障害の分析																							○	○								
	通信環境設計・運用管理	ネットワークシステムの評価 ・モニタリング手法の活用と実践 ・トラフィック計測と分析 ・シミュレーション手法の活用と実践 ・性能解析手法の活用と実践																							○	○								
	通信環境設計・運用管理	技術検証手法の活用と実践 ・プロトタイピング ・シミュレーション																							○									
	通信環境設計・運用管理	ネットワークモデリング技法 ・レイヤ定義 ・プロトコル定義																							○									
	通信環境設計・運用管理	ネットワーク標準 ・ネットワーク標準の把握と適用																							○	○								
	通信環境設計・運用管理	技術問題解決手法 ・技術問題解決手法の活用と実践																							○	○								
	eビジネスソリューション設計・開発管理	要件定義技法 ・現行業務分析 ・新規業務要件の把握 ・業務要件定義 ・現行IT環境分析 ・新規技術要件の把握 ・技術要件定義 ・インタビュー技法の活用と実践 ・要件定義書作成 ・ニーズの分析と優先順位付け																											○	○				
	eビジネスソリューション設計・開発管理	eビジネスソリューションの実践																											○	○				
	eビジネスソリューション設計・開発管理	セキュリティシステムの実装、検査 ・セキュリティ製品またはツールの選定と導入 ・セキュリティシステムの開発 ・セキュリティ技術の実装																											○	○				
	eビジネスソリューション設計・開発管理	収支管理																											○	○				
	eビジネスソリューション設計・開発管理	グローバリゼーション ・国際標準対応および業界標準対応と地域または国毎の関連法規や規定規格への対応 ・マルチ言語対応 ・標準やアーキテクチャ（Unicode、POSIX定義の国際化モデル、Character Data Representation Architectureなど） ・国際化（言語や文化に依存しない共通化された設計と実装） ・地域化(言語や文化に依存する部分の設計と実装)																											○	○				

c経済産業省

プロジェクトマネジメント	研修コース群		システム設計	システム構築	システム運用／保守	プロジェクトマネジメント基礎	プロジェクトマネジメント実践	プロジェクトマネジメントツールとプロセス	システム要件定義技法	プロジェクトマネジメントのリーダシップ	プロジェクトマネジメントのコミュニケーション	プロジェクトマネジメントのネゴシエーション	コンプレックスプロジェクトマネジメント	品質マネジメント	リスクマネジメント	ファイナンシャルマネジメント	プロジェクトマネジメントの契約管理	調達マネジメント	最新技術動向	プロジェクトマネジメント最新動向	最新ビジネス動向	インダストリアプリケーション動向	コミュニティ活動	プロジェクトマネジメント方法論（システム開発／アプリケーション開発／システムインテグレーション）	DOA構造化手法	プロジェクトマネジメント方法論（ネットワークサービス）	ネットワークプロジェクトマネジメント事例	プロジェクトマネジメント方法論（ソフトウェア製品開発）	ソフトウェア開発プロジェクトマネジメント	eビジネスソリューション開発方法論	eビジネスソリューションプロジェクトマネジメント	アウトソーシングプロジェクトマネジメントのための会計・経営管理概説	アウトソーシングプロジェクトマネジメントのシステム運用管理	アウトソーシングプロジェクトマネジメントのための方法論	アウトソーシングプロジェクトマネジメント概説	アウトソーシングプロジェクトマネジメント実践	アウトソーシングビジネスのプロジェクトマネジメント
職種共通スキル項目	専門分野固有スキル項目	知識項目	システム設計の基礎	システム構築	システム運用／保守	プロジェクトマネジメント基礎	プロジェクトマネジメント実践	プロジェクトマネジメントツールとプロセス	システム要件定義技法	プロジェクトマネジメントのリーダシップ	プロジェクトマネジメントのコミュニケーション	プロジェクトマネジメントのネゴシエーション	コンプレックスプロジェクトマネジメント	品質マネジメント	リスクマネジメント	ファイナンシャルマネジメント	プロジェクトマネジメントの契約管理	調達マネジメント	最新技術動向	プロジェクトマネジメント最新動向	最新ビジネス動向	インダストリアプリケーション動向	コミュニティ活動	プロジェクトマネジメント方法論（システム開発／アプリケーション開発／システムインテグレーション）	DOA構造化手法	プロジェクトマネジメント方法論（ネットワークサービス）	ネットワークプロジェクトマネジメント事例	プロジェクトマネジメント方法論（ソフトウェア製品開発）	ソフトウェア開発プロジェクトマネジメント	eビジネスソリューション開発方法論	eビジネスソリューションプロジェクトマネジメント	アウトソーシングプロジェクトマネジメントのための会計・経営管理概説	アウトソーシングプロジェクトマネジメントのシステム運用管理	アウトソーシングプロジェクトマネジメントのための方法論	アウトソーシングプロジェクトマネジメント概説	アウトソーシングプロジェクトマネジメント実践	アウトソーシングビジネスのプロジェクトマネジメント
	eビジネスソリューション設計・開発管理	危機管理の実践																												○	○					
	eビジネスソリューション設計・開発管理	eビジネス開発の実施 ・プロトタイピング ・eビジネス開発上のリスク要因 ・スケジューリング ・開発要員 ・ネーミング ・開発標準 ・画面体系 ・URL構造																												○	○					
	eビジネスソリューション設計・開発管理	技術問題解決手法 ・技術問題解決手法の活用と実践																												○	○					
	新規ソフトウェア開発・既存ソフトウェア改良	要件定義技法 ・現行業務分析 ・新規業務要件の把握 ・業務要件定義 ・現行IT環境分析 ・新規技術要件の把握 ・技術要件定義 ・インタビュー技法の活用と実践 ・要件定義書作成 ・ニーズの分析と優先順位付け																										○	○							
	新規ソフトウェア開発・既存ソフトウェア改良	ソフトウェア開発テクニックの活用と実践																										○	○							
	新規ソフトウェア開発・既存ソフトウェア改良	知的資産の管理と活用 ・知的資産のデータベース化（付加価値、構造化、共有化） ・知的資産の活用 ・知的資産の維持と管理 ・効果の把握と改善の実施 ・ビジネスモデル特許																										○	○							
	新規ソフトウェア開発・既存ソフトウェア改良	顧客環境管理																										○	○							
	新規ソフトウェア開発・既存ソフトウェア改良	ソフトウェア製品、パッケージソフトウェア関連知識の活用と実践																										○	○							
	新規ソフトウェア開発・既存ソフトウェア改良	ソフトウェアエンジニアリング ・IT標準化手法 ・開発手法 ・開発支援ツール技術 ・プログラミング技術 ・テスト技法 ・再利用手法 ・セキュリティとプライバシ ・セキュリティ対策ツールと手法 ・外部設計 ・内部設計 ・オブジェクト指向開発 ・デバッグ技法																										○	○							
	新規ソフトウェア開発・既存ソフトウェア改良	技術問題解決手法 ・技術問題解決手法の活用と実践																										○	○							
業務分析		ユーザとのリレーション確立							○																											
業務分析		インダストリ知識 ・インダストリ共通アプリケーションに関する知識の活用 ・インダストリ固有アプリケーションに関する知識の活用 ・インダストリビジネス動向 ・インダストリ技術動向の把握 ・インダストリ競合状況の把握 ・インダストリ用語の把握と活用 ・関連法規の把握と活用 ・インダストリ別事業環境の把握と活用 ・インダストリ別ビジネス慣行の把握と活用 ・インダストリ固有業務内容の把握と活用							○																												
業務分析		業務要件分析 ・ユーザニーズの把握 ・ニーズの分析と優先順位付け							○																											
業務分析		ビジネスプロセス分析、設計技法 ・現行ビジネスプロセスの分析と把握 ・新ビジネスプロセスの分析と設計 ・ビジネスプロセス分析手法の活用と実践							○																											
業務分析		プラットフォーム要件定義 ・CPU能力の見積 ・ストレジ容量の見積 ・伝送量の見積 ・トランザクション量の見積 ・レスポンスの見積	○																																	
業務分析		技術要件分析 ・現行IT環境分析 ・新規技術要件の把握 ・ニーズの分析と優先順位付け	○						○																											
テクノロジ		システムプラットフォーム技術 ・オペレーティングシステム技術の活用と実践(メインフレーム、分散機(オフコン)、Unix、WINDOWS、Linuxなど.)	○																																	
テクノロジ		プログラミング言語、マークアップランゲージ ・C・C＋＋・COBOL・Java・UML・HTML・XML などの各種言語と表記法の特徴およびグラフィカルな開発環境の使用法		○																																
テクノロジ		システム管理技術 ・システム資源監視技術 ・プロセス監視技術 ・システムソフトウェアやミドルウェアの管理機能のインターフェース技術 ・パフォーマンス計測技術 ・ハードウェアやソフトウェアの構成管理機能 ・ソフトウェア配布機能 ・ジョブ管理機能 ・遠隔操作機能 ・アクセス管理機能 ・ユーザ管理機能 ・リスク管理機能 ・ストレジ管理機能			○																																
テクノロジ		技術問題解決手法 ・技術問題解決手法の活用と実践	○	○	○																															
テクノロジ		コンピュータ科学基礎 ・情報の基礎理論 ・データ構造とアルゴリズム		○																																
テクノロジ		情報化と経営 ・情報戦略 ・企業会計 ・経営工学 ・エンジニアリングシステム分野とビジネスシステム分野における情報システムの活用 ・関連法規の理解と遵守																				○														
デザイン		データベース、ミドルウェア、分散コンピューティング設計 ・最適データベースの選定 ・最適ミドルウェアの選定 ・最適分散コンピューティング選定 ・データベース機能および制約事項の理解 ・ミドルウェア機能および制約事項の理解 ・分散コンピューティング機能機能および制約事項の理解 ・データベースを利用したアプリケーション設計の実践 ・ミドルウェアを利用したアプリケーション設計の実践 ・分散コンピューティングを利用したアプリケーション設計の実践	○																																	
デザイン		プログラム設計 ・開発手法とプラットフォームの選定 ・プログラム設計基準 ・プログラム設計書の作成 ・テスト計画と仕様の作成	○																																	
デザイン		開発環境設計 ・開発環境要件の定義 ・プラットフォーム選定		○																																
デザイン		技術検証手法の活用と実践 ・プロトタイピング ・シミュレーション		○																																
デザイン		モデリング技法の理解と活用 ・データモデリング技法の活用と実践 ・プロセスモデリング技法の活用と実践 ・パフォーマンスモデリング技法の活用と実践 ・プロトタイピング技法の活用と実践 ・ベンチマーキング技法の活用と実践	○																																	
デザイン		要件定義 ・ユーザ要求とプロジェクト範囲の明確化 ・案件の優先順位付けと関連部門の調整 ・要件調査の実施 ・要件の定義と文書化 ・資源要求の調査 ・システム化計画の策定							○																											
ソフトウェアエンジニアリング		設計手法 ・オブジェクト指向設計 ・構造化設計 ・データ中心型設計	○																							○										
ソフトウェアエンジニアリング		開発手法 ・開発手法の選定 ・開発手法の活用と実践 ・ウォーターフォール型・RAD型・スパイラル型 ・業務パッケージ固有の開発手法	○																																	
ソフトウェアエンジニアリング		開発支援ツール ・開発環境 ・各種アプリケーション開発ツール ・各種構成管理ツール ・各種デバッガ ・各種シミュレータ ・その他の開発支援ツール	○	○																																
ソフトウェアエンジニアリング		プログラミング技術 ・各種プログラミング言語技術の活用と実践		○																																
ソフトウェアエンジニアリング		再利用手法 ・ソフトウェア部品の利用 ・先行プロジェクトの成果物利用 ・再利用手法の活用と実践	○	○																																
ソフトウェアエンジニアリング		デバッグ技法 ・デバッグツールの活用と実践		○																																
ソフトウェアエンジニアリング		外部設計 ・外部設計の手順 ・システム機能設計 ・データモデルの設計 ・外部設計書の作成	○																							○										
ソフトウェアエンジニアリング		内部設計 ・機能設計 ・インターフェース設計 ・内部データ設計 ・サブコンポーネントの識別と役割定義 ・サブコンポーネント間の関係定義 ・内部設計書の作成	○																																	

c経済産業省

プロジェクトマネジメント	研修コース群	システム設計	システム構築	システム運用／保守	プロジェクトマネジメント基礎	プロジェクトマネジメント実践	プロジェクトマネジメントツールとプロセス	システム要件定義技法	プロジェクトマネジメントのリーダシップ	コンサルティングメソドロジ	プロジェクトマネジメントのコミュニケーション	プロジェクトマネジメントのネゴシエーション	コンプレックスプロジェクトマネジメント	品質マネジメント	リスクマネジメント	ファイナンシャルマネジメント	プロジェクトマネジメントの契約管理	調達マネジメント	最新技術動向	プロジェクトマネジメント最新動向	最新ビジネス動向	インダストリアプリケーション動向	コミュニティ活動	プロジェクト方法論（システム開発／アプリケーション開発／システムインテグレーション）	DOA構造化手法	プロジェクトマネジメント方法論（ネットワークサービス）	ネットワークプロジェクトマネジメント事例	プロジェクトマネジメント方法論（製品開発）／ソフトウェア	ソフトウエア開発プロジェクトマネジメント	eビジネス方法論／eビジネスソリューション開発	eビジネスソリューションプロジェクトマネジメント	アウトソーシングプロジェクトマネジメントのための会計システム運用管理方法論	アウトソーシングビジネスのプロジェクトマネジメント		
職種共通スキル項目	専門分野固有スキル項目	知識項目	システム設計の基礎	システム構築	システム運用／保守	プロジェクトマネジメント基礎	プロジェクトマネジメント実践	プロジェクトマネジメントツールとプロセス	システム要件定義技法	プロジェクトマネジメントのリーダシップ	コンサルティングメソドロジ	プロジェクトマネジメントのコミュニケーション	プロジェクトマネジメントのネゴシエーション	コンプレックスプロジェクトマネジメント	品質マネジメント	リスクマネジメント	ファイナンシャルマネジメント	プロジェクトマネジメントの契約管理	調達マネジメント	最新技術動向	プロジェクトマネジメント最新動向	最新ビジネス動向	インダストリアプリケーション動向	コミュニティ活動	プロジェクト方法論（システム開発／アプリケーション開発／システムインテグレーション）	DOA構造化手法	プロジェクトマネジメント方法論（ネットワークサービス）	ネットワークプロジェクトマネジメント事例	プロジェクトマネジメント方法論（製品開発）／ソフトウェア	ソフトウエア開発プロジェクトマネジメント	eビジネス方法論／eビジネスソリューション開発	eビジネスソリューションプロジェクトマネジメント	アウトソーシングプロジェクトマネジメントのための会計システム運用管理方法論	アウトソーシングプロジェクトマネジメント概説	アウトソーシングプロジェクトマネジメント実践	アウトソーシングプロジェクトマネジメントの会計・経営管理概説
ソフトウェアエンジニアリング		オブジェクト指向開発 ・オブジェクト指向の基本概念 ・UML ・オブジェクト指向開発プロセス ・分析と設計と実装 ・主なオブジェクト指向技術	○	○																																	
ソフトウェアエンジニアリング		テスト技法 ・テストケース設計 ・仕様決定 ・テスト環境設定 ・管理 ・テストデータ準備 ・テストツールの活用		○																																	
ソフトウェアエンジニアリング		セキュリティシステムの実装、検査 ・セキュリティ製品、ツールの選定、導入 ・セキュリティシステムの開発 ・セキュリティ技術の実装			○																																
ソフトウェアエンジニアリング		DOA手法の実践 ・DFD ・データディクショナリ																								○											
汎用業務システム構築(人事・会計・総務等)		インダストリ知識 ・インダストリ共通アプリケーションに関する知識の活用 ・インダストリ固有アプリケーションに関する知識の活用 ・インダストリビジネス動向の把握 ・インダストリ技術動向の把握 ・インダストリ競合状況の把握 ・インダストリ用語の把握と活用 ・関連法規の把握と活用 ・インダストリ別事業環境の把握と活用 ・インダストリ別ビジネス慣行の把握と活用 ・インダストリ固有業務内容の把握と活用			○																																	
汎用業務システム構築(人事・会計・総務等)		汎用業務内容 ・汎用業務内容 ・特性の把握、活用 ・業務別標準技術の把握、活用			○																																
汎用業務システム構築(人事・会計・総務等)		汎用業務最新動向 ・業務別最新動向の把握と活用 ・業務別システム導入事例の把握と活用			○																																
業務パッケージを活用した業務システム構築		業務パッケージパフォーマンスチューニング ・パフォーマンスチューニング手法の活用と実践 (トレース、デバッグ、問題判別、問題解決、アクセスパスインデックシング手法など)			○																																
業務パッケージを活用した業務システム構築		業務パッケージ内容 ・業務パッケージの特性の把握と活用			○																																
コンサルティングメソドロジの活用		コンサルティングメソドロジの選択と活用 ・コンサルティングメソドロジの比較と分析 ・コンサルティングメソドロジの選定と適用 ・プロセスの定義と実践 ・成果物の定義と作成 ・コンサルティング技術の適用								○																											
コンサルティングメソドロジの活用		分析ツールとモデルの理解と活用 ・事業ライフサイクル（導入期、成長期、成熟期、衰退期）モデル ・プロダクトポートフォリオマネジメント（PPM）モデル ・経験カーブ ・3C分析 ・SWOT分析 ・7Sモデル ・マイケル・ポーターの5Forcesモデル ・バリューチェーン分析								○																											
知的資産管理（Knowledge Management）活用		知的資産の管理と活用 ・知的資産のデータベース化（付加価値、構造化、共有化） ・知的資産の活用 ・知的資産の維持と管理 ・効果の把握と改善の実施 ・ビジネスモデル特許								○																											
コンサルティングの実施		コンサルティング技術の活用 ・仮説設定 ・データ収集 ・インタビューの実施 ・セッションの運営 ・データ分析 ・検証 ・コミュニケーションとネゴシエーションの実施 ・報告書の作成								○																											
コンサルティングの実施		顧客リレーション ・顧客リレーションの確立と維持								○																											

c経済産業省